京都医労連通信

25春闘特別号

2025年03月18日 NO1680

離職STOP！
2025春闘

離職STOP！3・13統一行動

全医労が2月28日に続いて、スト決行！

＝南京都支部＝

南京都支部では支援者を含む15人が参加しました。

現場から「セフティーネットを担う国立病院。ゼロ回答、私たちに価値はないのでしょうか」（南京都病院の看護師）との訴えに続き、支援者より「専門職なのに賃金が安い」（京都国公）「看護師の離職が続いていると聞いた。思い切った賃上げが必要」（京都総評）「赤字だから過酷な環境で働いていいのでしょうか」（宇治市職労）「39年間国立で働いてきた。賃上げを」（国立病院OB）「子どもが小児ぜんそくでココにお世話になった。府民には大事な所、賃上げを」（京都府府職労連）などの訴えが玄関前で行われました。

＝宇多野支部＝

京都総評・京都総評女性部・京都国公・全国一般・西右京地区労・年金者組合・郵政ユニオン京都西支部・京都自治労連からの支援者を含め20人の参加で訴えました。

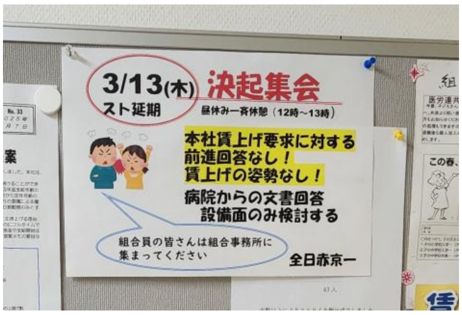
現場からは「過酷な労働環境なら心も疲弊しますし体も疲弊してしまう。自分たちの心身が健康でないと患者さんにも対応できない」などの訴えがされました。

第二日赤、スト決行！病院外来前宣伝

第二日赤労組は、始業時1時間指名ストを病院外来にて署名宣伝行動行いました。支援者を含めて10人が参加し、署名付はがき200個配布、94筆の署名を集約しました。
「しないといけないと思っていたんですよ」（病院医師）「いつもお世話になってるので、やります」（患者さん）「92歳で婦人科以外の科は制覇しています。（患者さん本人が署名したのち）私も書きますね」（患者さんの娘さん）と署名とともにたくさんの励ましの声が…！

第一日赤は昼休み意思統一決起集会！

第一日赤職労はストを延期、昼休み意思統一決起集会に切り替えました。執行部より回答状況報告などが行われ、意思統一がされました。



民医労もスト決行！各事業所で宣伝（写真は各事業所前の宣伝の様子）

京都協立病院前

京都民医連中央病院前

太子道診療所前

あすかい病院屋上

洛南イオン前

医誠会診療所前

京都民医労は、回答指定日12日の中闘交渉で定期昇給のみ・一時金回答延期など前進がなかったため、13日午後時限全面＆指名ストを決行しました。民医労各支部では病院や診療所前などで集会（団交報告）やアピール行動を行いました。その後、イオンモール京都前の京都医労連宣伝行動に合流しました。

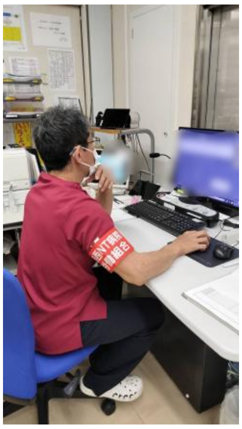
その他の単組でも3.13統一行動に呼応した取り組みが行われました！

桂・昼休み病院玄関前署名（支援者を含め延べ9人　1時間で増員署名61筆、署名付きハガキ150個弱配布しました。）

ふるさと労組・昼休み病院玄関前署名（組合員2人　1時間で18筆🖊）

太秦労組・全ＪＣＨＯ京都などでアピール文配布・掲示

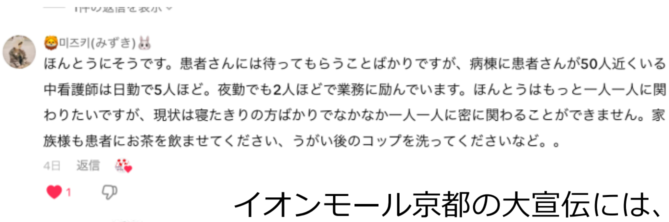
洛西ニュータウン労組は腕章闘争

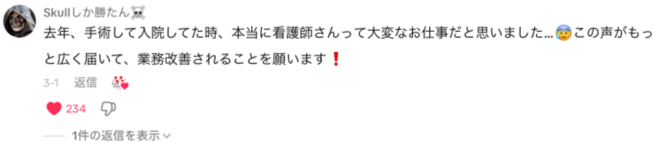


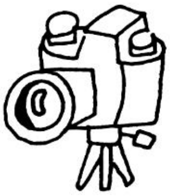
SNS・マスコミでも医労連のストライキが話題に

前日の回答指定日には、ストライキ決議が1000を超え、特設サイトでの事業所決議のマッピングは、日本地図を埋め尽くすほどになりました。3/12の夜の時点で、単組・支部の「スト決行」の投稿が相次ぎ、「#私たちストライキします」がトレンド入りしました。3/13当日も、ストライキ決行とともに投稿が相次ぎ、一日中、断続的にトレンド入りしました。SNS上で影響力をもつ発信者（インフルエンサー）が、今回のストライキに言及するYOUTUBEやTikTokでの投稿も多数ありました。

2月28日に行った全医労南京都の山崎さんのTikTokの投稿（写真参考👉）が40万回以上視聴、約8,000👍、約800コメントとバズリまくり。白衣の看護師が「ナースコールが鳴っても飛んでいけない」という切実な訴えが、一般の方にもわかりやすく、医療従事者の共感。（👇は返信コメント）


😊미즈키(みずき)🐰
ほんとうにそうです。患者さんには待ってもらうことばかりですが、病棟に患者さんが50人近くいる中看護師は日勤で5人ほど。夜勤でも2人ほどで業務に励んでいます。ほんとうはもっと一人一人に関わりたいですが、現状は寝たきりの方ばかりでなかなか一人一人に密に関わることができません。家族様も患者にお茶を飲ませてください、うがい後のコップを洗ってくださいなど。。
4日　返信
1


Skullしか勝たん☠
去年、手術して入院してた時、本当に看護師さんって大変なお仕事だと思いました…😨この声がもっと広く届いて、業務改善されることを願います❗
3-1　返信
234
1件の返信を表示



イオンモール京都の大宣伝には、NHK「クローズアップ現代」が取材（事前取材にも協力：看護師の現場実態の聞き取り）で撮影に。また、テレビ東京「ガイアの夜明け」からも取材依頼があります。マスコミにも私たちの取り組みが注目されています。

離職STOP！3・13大宣伝

イオンモール京都前宣伝行動は、40名と支援者12名の参加で行われました。取材は4社（NHK・機関紙協会・赤旗・京都民報）。現場からのリレートークでは「人が死にゆく最後の病棟に医療崩壊が迫っています。看護師らの限界はとっくに超えています」（民医労・緩和ケア病棟で働く看護師）「感染症対策の教訓に学ぶことなく、地域医療構想推進の姿勢を変えようとしていません」（全医労・看護師）「看護師は高い賃金と思われがちだが、それは残業と夜勤があってこそ。それでも低い。夜勤もある看護という重労働には見合わない賃金水準」（太秦労組・看護師）「人事考課制度が4月から導入。医療はチーム医療・競争はいけない」（洛西ニュータウン労組・事務）「働き続けるのかと言う不安がある。せっかく国立病院で働きたいと言う意思を持って入った以上、その気持ち忘れず、先輩と頑張りたい。」（全医労・看護師）「マイナカード導入で職場は大混乱（民医労・事務職員）」「介護職員は足りません。」（民医労・介護職員）などの現場の切実な訴えが行われました。
宣伝後は京都JAビルでまとめ集会を行いました。参加者からは「参加は初めてだが参加してよかった」「私たちの訴えは消えない。いつか届く。SNSを活用した新しい活動考えていきたい」などの感想と各単組の春闘状況の報告などがされ、最後は勝野委員長の団結がんばろうで25春闘勝利に向け決意を固め合いました。

イオンモール京都前で現場からの訴え！

団結がんばろうで奮闘を誓いました！